

03.06.09

有山 忠男

寿都町・美しい海づくり研究 【農地・都市グループ】

1. コンセプトづくり

フローに従い、グループ会員、寿都町民、研究会員と議論し創りあげる。

2. 現状調査【農地・都市グループ】

1) 農地現況調査

寿都湾の内陸部に広がる沖積平野（農地）について、その生成過程や地質的特徴を把握し、農地としての特性を検討する。また、現在の農地としての土地利用状況、作付け状況などを現地調査及びヒアリング調査により把握し、この土地がどのような作物に適するか、あるいはこの土地にふさわしい農業とは何かを明らかにする。さらに、一般論として、他地域における海岸農地の事例研究などにより、海岸農地の一般的な特性と課題などを整理する。

2) 農地景観調査

寿都町の沖積平野に広がる農地景観の特徴を整理し、今後の景観整備の課題を明らかにする。特に、海岸と農地との関連性という点で、防風林、防砂林、あるいはそうした効果を発揮している樹林の状況を現地調査により調べ、その存在が農地景観に及ぼす影響などを把握する。さらに、そこで営まれている農業そのものの姿（農家のたたずまい、農家の人たちの生活風景など）にもスポットを当て、農業という営みを通して、寿都の人と自然との関わりを考える。

3) 市街地景観調査

寿都町における市街地発展の歴史的な経緯を踏まえながら、主に現地調査により寿都町市街地の景観、特に漁村集落の景観の現状を調査し、市街地という観点から海の町寿都の景観的特性を明らかにする。なお、漁村集落の景観を考えるに当たっては、農地景観調査と同じように、そこでの生活風景の調査、すなわちその背景にある漁業者の生活スタイル（作業時間等）などの調査も行う。

4) 過年度調査の文献・資料調査

寿都町役場、北海道、開発局等の機関から、過去における農地開発、市街地開発、景観調査等の資料を収集し、上記調査に反映させる。また、農地開発、市街地開発に関連する過去の参考写真を収集し、整理する。

3. 現状調査の取りまとめ

以上の調査のまとめとして、寿都町の市街地形成、農地開発の歴史、またそこから生まれた寿都町の景観の構造、特性を明らかにし、今後の美しいまちづくりに向けた課題を整理する。